

450 億円の税金投入で、赤字続きの「熊本城ホール」



・・・ 利用率が低迷、上野みえこ議員が予算決算委員会の総括質疑で指摘 ・・・

メインホールはじめ、どのホールも稼働率目標は未達成

市内の各ホールの稼働状況は右表のとおりです。熊本城ホールのメインホール・シビックホール・展示ホールは、他の文化ホールと比べても低い稼働率で、目標にも届いていません。

利用料金が高く、市民が気軽に利用できないなど、市有施設の役割に課題が残ります。

【2023 年度市内文化ホールの稼働状況】

(ホール名)	稼働率(%)	目標(%)
メインホール	39.2	60
シビックホール	51.4	81
展示ホール	40.8	77.7
市民会館	74	—
森都心ホール	81	—
健軍文化ホール	80	—
国際交流会館 H	80	—

*健軍文化ホールは、2カ月半ホール休みを含む

大規模催事の誘致低迷は、整備そのものが問われる

熊本城ホールは、「全館一体利用で 3,000 人規模のコンベンションを単独で対応できる。近隣施設との連携で 5,000 人規模の学会などに対応可能」と、2,300 人収容ホール整備による大規模なコンベンション・コンサートの開催を売りに整備しました。

しかし実際には、2,000 人以

上規模の学会・総会等コンベンションが目標値 27 件に対し 11 件 (41%)、同じく 2,000 人以上のコンサートが目標値 60 件に対して 25 件 (42%) で、目標を大きく下回り、大規模催事の誘致に苦戦しています。

これでは、450 億円も投資した大ホール整備が問われます。

毎年続く赤字・・・解消が 5 年も先でいいのでしょうか

熊本城ホールの収支状況は、過去 3 年間だけでも毎年赤字で、赤字の合計額は 3 億 6,960 万円です。ところが、稼働率の目標達成は 2028 年度までを目指すと なっています。赤字解消が 5 年も先でいいのでしょうか。

熊本城ホールの指定管理料は「0 円」で、赤字は指定管理事業者の負担です。これでは、指定管理から事業者が撤退することも懸念されます。

【熊本城ホールの赤字】

2021 年度	△1 億 4,819 万円
2022 年度	△6,960 万円
2023 年度	△1 億 5,682 万円
(合計)	△3 億 7,461 万円

【控室から】
多様性が尊重される災害支援の実現を
上野 みえこ

9月21日、能登地震被災地を豪雨が襲い、復興途中の被災地に甚大な被害をもたらしました。犠牲になった方々のご冥福をお祈りすることもに、被災されたみなさまにお見舞い申し上げます。

9月23日に開かれた「熊本母親大会」では、「多様化する災害と多様性に配慮した地域防災」災害女性学」という演題で、宮城学院女子大学生活科学研究所所員の浅野富美枝さんがお話され、機に合った講演となりました。

日本の災害対策には過去の教訓が生かされず、「人間の復興」「生活の復興」、ジェンダーや多様性の視点が欠けており、重層的ネットワークの構築が必要であること、防災で強調される「自助・共助・公助」の見直しが必要だと指摘されました。

「災害女性学」は現状が出发点だそうです。

避けることのできない自然災害、それだけに減災・防災にどう取り組んでいくのか、どんな場合でも、どんな避難を選択しても、一人ひとりの多様性が尊重される災害支援こそ必要だと、学んだ講演でした。その実現に頑張りたいと思います。



上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

日本共産党
熊本市議会だより

NO. 1384
2024年9月29日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



熊本市中央区手取本町1-1
発行：日本共産党熊本市議
メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：共産党 熊本市議団

検索

生活保護世帯へ高等教育の保障を 大学受験料補助が実施されます

今議会に生活保護世帯に大学受験料の補助の予算が提案されました。(総額 350 万円)。熊本市の大学への進学率は全体では 83% ですが、保護世帯は 45% にとどまっています。貧困の連鎖を断ち切るという点では受験料補助は大事な制度ですが、高校を卒業したら保護の適用から除外となります。進学した後の生活支援が必要です。

世田谷区は上限 50 万円の給付型奨学金を実施しています。アルバイトや奨学金で頑張っている学生が安心して勉強できるよう世田谷区並みの支援が必要だと要求しました。

健康センター(清水分室・平成分室)の幼児健診 区役所への統廃合は中止を

乳幼児を抱えた家庭にとって大事な幼児施設の清水分室と平成分室の区役所への統廃合の検討が報告されました。熊本市は 6 か所の健康センターでは幼児健診(1歳6か月児・3歳児)が行われ、こどもの発達状況の把握や疾病などの早期発見につながっています。

統廃合の理由は区に相談機能

を集約して連携を図るとしてありますが、施設の老朽化もあげています。建物は、鉄筋コンクリートづくりで 40 年と 33 年。まだまだ充分使えます。現在アンケートのみで直接利用者や市民への説明が行われていません。

区役所への統廃合は中止すべきです。

障がい福祉タクシー券利用者の立場での改善を

障がい者福祉タクシー利用券業務委託補正予算が提案されました。熊本市の障がい福祉タクシー券は金額でも利用回数でも改善が必要です。

熊本市は、他の政令市より右表の通り遅れています。福岡市は、10 月から 2 枚利用に拡大しています。

障害者の社会参加促進の有力な事業です。

予算を増額し他都市にならない、制度を改善することを求めました。

	チケット 券面額		1 回の使用可 能枚数
熊本市	450 円	熊本市	1 枚
15 市	500 円	7 市	1 枚
静岡市	550 円	6 市	無制限
さいたま市	600 円	6 市	2 枚~10 枚
千葉市	1300 円		
北九州 市	初乗り運 賃相当額		

※政令市比較

マイナ保険証への移行は中止を 「現行保険証を残して」は市民の声 条例改正に反対 市民の声に応え現行保険証の利用継続を

マイナ保険証導入による条例の一部改正案が提案されました。12 月から現行の紙保険証が廃止されマイナ保険証への移行が強行されます。

本来マイナカードは法律上強制されるものではありません。マイナ保険証がなくても保険証は使えます。資格確認証が送られて

きます。市民病院のマイナ保険証の利用率は 11.0% と低調で、不安が広がっています。窓口の対応も職員を説明のため配置しないといけない状況です。拙速な導入に全国的な反対が広がっています。

マイナ保険証前提の条例改正案に反対しました。